

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成26年2月13日

**【四半期会計期間】** 第54期第3四半期  
(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

**【会社名】** ダイハツディーゼル株式会社

**【英訳名】** DAIHATSU DIESEL MFG.CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 原田 猛

**【本店の所在の場所】** 大阪市北区大淀中一丁目1番30号

**【電話番号】** 06-6454-2332

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 合田 修

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市北区大淀中一丁目1番30号

**【電話番号】** 06-6454-2331

**【事務連絡者氏名】** 総務部主管 水科 隆志

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第3四半期 連結累計期間	第54期 第3四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	38,015,714	38,588,077	54,528,409
経常利益 (千円)	1,417,281	2,334,664	2,826,826
四半期(当期)純利益 (千円)	1,608,091	1,285,938	2,271,644
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,596,977	1,565,606	2,486,364
純資産額 (千円)	25,725,262	28,037,182	26,614,406
総資産額 (千円)	62,796,482	69,587,122	65,087,986
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	50.51	40.39	71.35
自己資本比率 (%)	40.9	40.3	40.9

回次	第53期 第3四半期 連結会計期間	第54期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.86	25.20

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における我が国経済は、政権交代後の円安及び株価の回復により景気回復への期待感が高まりつつあるものの、長期化する欧州の債務問題や中国及びその他新興国経済の鈍化など、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような企業環境下、積極的な事業展開を進めました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,588百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、利益面におきましては、営業利益は2,373百万円（前年同四半期比80.9%増）、経常利益は2,334百万円（前年同四半期比64.7%増）、当第3四半期純利益は1,285百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <内燃機関部門>

##### イ) 船用機関関連

主力の新造船向け発電用補機関の販売台数が減少したものの、為替の影響等により、売上高は31,324百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益は4,072百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

##### ロ) 陸用機関関連

国内向け機関を中心に販売台数が増加したことにより、売上高5,425百万円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント損失は108百万円（前年同四半期は194百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は36,750百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は3,963百万円（前年同四半期比29.1%増）となりました。

#### <その他の部門>

##### イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、軽自動車業界において新車の生産販売が引き続き堅調であることから売上高、セグメント利益とも増加となりました。

##### ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも微増となりました。

##### ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、平成25年8月より、小規模ながら売電目的の太陽光発電設備を新設し、太陽光発電事業へ参画いたしました。

従いまして、当部門の売上高は1,837百万円（前年同四半期比35.3%増）、セグメント利益は330百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の部では、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末に比べ、2,403百万円減少となりました。また、減価償却に伴い、有形固定資産は前連結会計年度末に比べ、834百万円減少し、15,469百万円となりました。一方で、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、5,674百万円増加し、たな卸資産につきましても前連結会計年度末に比べ、2,149百万円増加となりました。その結果、資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、4,499百万円増加し、69,587百万円となりました。

負債の部では、長期借入金の残高が前連結会計年度末に比べ、2,384百万円減少、一方で、短期借入金の残高は2,023百万円増加となりました。これは、長期借入金から短期借入金（1年内返済予定の長期借入金）への振替によるものです。また、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ、3,136百万円増加となりました。その結果、負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、3,076百万円増加し、41,549百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の1,143百万円増加などにより、前連結会計年度末に比べ、1,422百万円増加し、28,037百万円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1,516百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	31,850,000	31,850,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	31,850,000	31,850,000		

(注) 昭和41年5月2日会社設立資本金10億円のうち現物出資額548,900千円があります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月31日		31,850,000		2,434,300		2,150,863

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,784,000	31,784	
単元未満株式	普通株式 52,000		
発行済株式総数	31,850,000		
総株主の議決権		31,784	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイハツディーゼル株式会社	大阪市北区大淀中1丁目 1番30号	14,000		14,000	0.04
計		14,000		14,000	0.04

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,433,707	25,108,639
受取手形及び売掛金	15,053,675	12,650,608
たな卸資産	7,747,305	9,896,832
繰延税金資産	1,800,157	1,615,599
その他	699,756	809,729
貸倒引当金	87,800	72,980
流動資産合計	44,646,801	50,008,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,128,585	6,985,026
機械装置及び運搬具(純額)	5,194,334	4,666,814
土地	3,166,192	3,166,192
建設仮勘定	58,157	106,188
その他(純額)	756,366	545,166
有形固定資産合計	16,303,637	15,469,389
無形固定資産	618,012	515,332
投資その他の資産		
投資有価証券	897,422	1,046,071
長期貸付金	7,625	6,122
繰延税金資産	1,802,493	1,774,184
その他	888,180	828,583
貸倒引当金	76,186	60,990
投資その他の資産合計	3,519,535	3,593,971
固定資産合計	20,441,184	19,578,693
資産合計	65,087,986	69,587,122
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,772,249	12,908,796
短期借入金	7,684,400	9,707,500
リース債務	318,141	202,488
未払法人税等	877,897	244,319
賞与引当金	565,159	214,888
役員賞与引当金	45,000	33,750
災害損失引当金	-	36,000
未払費用	3,091,861	3,016,767
その他	2,001,717	3,282,859
流動負債合計	24,356,426	29,647,369



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,015,600	3,630,900
リース債務	346,135	349,970
退職給付引当金	4,765,773	4,975,930
役員退職慰労引当金	377,664	323,267
資産除去債務	134,898	136,124
その他	2,477,080	2,486,376
固定負債合計	14,117,152	11,902,569
<b>負債合計</b>	<b>38,473,579</b>	<b>41,549,939</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,434,300	2,434,300
資本剰余金	2,170,871	2,170,871
利益剰余金	22,059,831	23,203,172
自己株式	8,627	8,860
株主資本合計	26,656,375	27,799,483
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	130,914	232,016
繰延ヘッジ損益	7,754	506
為替換算調整勘定	195,971	9,971
その他の包括利益累計額合計	57,302	221,538
少数株主持分	15,333	16,160
<b>純資産合計</b>	<b>26,614,406</b>	<b>28,037,182</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>65,087,986</b>	<b>69,587,122</b>

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	38,015,714	38,588,077
売上原価	29,425,304	28,846,110
売上総利益	8,590,410	9,741,966
販売費及び一般管理費		
販売費	5,221,528	5,447,437
一般管理費	2,056,560	1,921,073
販売費及び一般管理費合計	7,278,088	7,368,511
営業利益	1,312,321	2,373,455
営業外収益		
受取利息	15,524	16,163
受取配当金	10,708	23,292
負ののれん償却額	46,625	-
貸倒引当金戻入額	144,498	31,924
雑収入	58,498	55,724
営業外収益合計	275,856	127,104
営業外費用		
支払利息	143,579	121,049
為替差損	1,316	17,378
雑損失	25,999	27,468
営業外費用合計	170,895	165,896
経常利益	1,417,281	2,334,664
特別利益		
固定資産売却益	228,032	407
国庫補助金	-	36,701
その他	131	-
特別利益合計	228,164	37,109
特別損失		
固定資産廃棄損	19,022	23,371
投資有価証券評価損	6,861	-
災害による損失	-	*1 174,875
その他	5,318	750
特別損失合計	31,202	198,996
税金等調整前四半期純利益	1,614,244	2,172,777
法人税、住民税及び事業税	307,082	713,081
法人税等調整額	302,078	172,929
法人税等合計	5,004	886,011
少数株主損益調整前四半期純利益	1,609,240	1,286,765
少数株主利益	1,148	826
四半期純利益	1,608,091	1,285,938

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,609,240	1,286,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,810	101,102
繰延ヘッジ損益	35,253	8,261
為替換算調整勘定	14,179	185,999
その他の包括利益合計	12,262	278,840
四半期包括利益	1,596,977	1,565,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,595,828	1,564,779
少数株主に係る四半期包括利益	1,148	826

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

## ・連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち、DAIHATSU DIESEL (EUROPE) LTD.、DAIHATSU DIESEL (ASIA PACIFIC) PTE. LTD.、DAIHATSU DIESEL (AMERICA), INC.の3社については、決算日を12月31日から3月31日に変更し、DAIHATSU DIESEL (SHANGHAI) CO., LTD.については、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

これらの変更により、当第3四半期連結累計期間は平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日の3ヶ月分の純資産の変動については、四半期連結貸借対照表の「利益剰余金」に反映しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	366,966千円	96,334千円
支払手形	494,809	573,708
その他(流動負債)	109,341	20,600

(四半期連結損益計算書関係)

## 1 災害による損失

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社守山第一工場において、平成25年9月の台風18号の影響により発生した油流出事故に対し、原状回復費用等を計上しております。

上記のうち、災害損失引当金に繰り入れた金額は、36,000千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	2,059,097千円	1,799,540千円
負ののれん償却額	46,625	

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	254,694	8	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社及び国内連結子会社の一部は、第2四半期連結会計期間において不動産売却を行いました。これに伴い、土地再評価差額金748,104千円を取り崩し、同額を利益剰余金に振り替えております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	254,690	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,168,903	4,488,500	36,657,404	1,358,310	38,015,714	-	38,015,714
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	32,168,903	4,488,500	36,657,404	1,358,310	38,015,714	-	38,015,714
セグメント利益 又は損失( )	3,265,266	194,691	3,070,574	298,306	3,368,881	2,056,560	1,312,321

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 会計方針の変更等に記載の通り、国内連結子会社の一部は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方法に比べて、この変更がセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	31,324,525	5,425,587	36,750,112	1,837,964	38,588,077		38,588,077
セグメント間の 内部売上高又は 振替高							
計	31,324,525	5,425,587	36,750,112	1,837,964	38,588,077		38,588,077
セグメント利益 又は損失( )	4,072,244	108,411	3,963,833	330,695	4,294,529	1,921,073	2,373,455

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業及び不動産賃貸関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	50円51銭	40円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,608,091	1,285,938
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,608,091	1,285,938
普通株式の期中平均株式数(株)	31,836,788	31,836,023

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

ダイハツディーゼル株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 廣 田 壽 俊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 市 之 瀬 申 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイハツディーゼル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイハツディーゼル株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。